

美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部第3回会議録

(平成27年10月19日(月) 13:00 市長会議室)

出席者：市長・副市長・教育長・総務部長・総務部理事・市民部長・地域福祉課長(保健福祉部長代理)・恵風園長・保健福祉部理事・経済部長・都市整備部長・市立美唄病院事務局長・消防長・教育部長

【市長】 美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部の第3回の会議を開催します。本日の議題としましては、一つ目として、地方創生交付金を活用して委託しておりました人口ビジョンの素案がまとまりましたので、概要の説明をいただきます。また、二つ目としましては、総合戦略に登載を要望する事業調査について、担当から説明をもらいまして、確認をしたいと思いますので、以上2点について、よろしくお願いします。それでは、次第に基づいて進めていきます。次第2 議事の(1) 美唄市人口ビジョン(素案)について事務局から説明をお願いします。

【企画課主査】 人口ビジョン(素案)の説明につきましては、本日は、人口ビジョンの策定業務を受託いただいております、株式会社 道銀地域総合研究所の北嶋業務部長から説明をいただきます。そして、その後、私の方から説明をさせていただきます。なお、本日ご説明申し上げます素案は、現段階では、道銀総研さんが作成した案という位置づけです。それでは、北嶋さん、よろしくお願いします。

<道銀総研説明>

【企画課主査】 将来人口の目標設定につきましては、2040年(平成52年)に17,000人、2060年(平成72年)に13,600人と設定しておりまして、これは、出生率が2030年(平成42年)には1.8(国民出生希望率)まで、2040年(平成52年)には2.07(人口置換水準)まで回復すると想定していることと、加えて、2040年には転出入が均衡するという一方で、このような条件により設定している将来人口となっています。非常に厳しい数値であることは承知の上でして、これは、国が2.07という数値を設定しておりまして、参考資料にありますとおり、北海道をはじめ多くの市町村が国の考え方に追従して、同様の設定としております。実現できるかどうかという妥当な出生率を独自に分析するよりも、むしろ、まちづくりを維持していくことが可能である数値、この数値でなければ、まちが存続していかないという数値、これが2.07という数値でありまして、実現可能かどうかということよりむしろ、これに向けて努力をしていくという考え方を優先して、設定した数値と言うことで、ご理解いただきたいと思います。今後のスケジュールにつきましては、スケジュール表を作成してお配りしておりますが、あす20日に、この素案を産官学金労言の市民組織「戦略専門部会」で同様の説明をしまして、後ほど説明しますが、このビジョンの素案に基づきまして、総合戦略の案を策定していくということで、庁内の事業調査を実施します。そして、調査の結果を基に、総合戦略の素案ができましたら、

人口ビジョンの素案と合わせまして、12月に議員協議会、1月にパブリックコメント、2月の市長決裁を経まして、3月に完成・公表と考えています。私からは以上です。

【市長】 ただいま説明のあった人口ビジョンにつきまして、質問はありますか。大変厳しい推計が示されているわけですが、国や道との計画の整合性といいますか、その辺をしっかりと見ながらということでした、美唄市としても人口の目標の設定ということを別資料で用意をしております。平成52年には17,000人、平成72年には13,600人ということで目標値を設定していますが、厳しい条件といいますか、これを国がどういうふうに進めて行くのか疑問なところもあるのですが、平成72年には、出生率2.07を実現させるということです。各自治体の例を見ても、まだ未定というところのようです。また、すでに国が示している2.07の数値に合わせているところもありますし、それぞれの市が独自で数値を出しているところもあります。美唄市としては2.07を目標に、これを実現するための計画ということでございます。ご意見があればお受けしたいと思います。

【経済部長】 他の自治体がどのような人口ビジョンを策定しているのか私は分かりないのですが、分析は多分他の自治体のどこも厳しいはずで、そうした中で今回の素案を示されていると思います。ビジョンというからには、この厳しい状況をどうしていくというものが示されていない、こういう状態を踏まえてどうするのかという部分が中々見えてこないという感じを受けます。

【企画課主査】 人口ビジョンで分析されたことを踏まえて、庁内の調査を実施しまして、その結果を踏まえまして、総合戦略の中に具体的な案等を載せていこうかなと思っております。ビジョンと総合戦略を合わせてみなければそういった面が見えてこないのかなとは思いますが、私共事務局の方としては、総合戦略の中で具体的なものを考えて行こうかなと思っております。

【経済部長】 北海道新聞の記事で長沼町の人口ビジョンが紹介されていたと思うのですが、人口ビジョンの中で4つの柱といいますか、例えば雇用ですとか、福祉ですとか、そういうものを人口ビジョンの中に謳っていたと思うのですが、そういうものを謳って行かないとビジョンにはならないのかなと。総合戦略と人口ビジョンは確かに連動するものですが、だからどうするというのを人口ビジョンの中に出さないと白書で終わってしまうのかなと思います。それに関してはどうですか。

【企画課主査】 ビジョンの最後の方の人口の変化が美唄市にあたえる影響ですとか、今後の検討の部分につきましては、この部分をもう少しふくらませる形で総合戦略に具体性を持ってつないでいくといいますか、そういった形になると思います。市民組織の戦略専門部会では4つの目標をすでに立てておりまして、総合戦略の中で事業展開を考えていくということで進めております。

【総務部理事】 人口ビジョンは総合戦略を作るための事前の基礎資料とするということで、委託をかけているものですから、ビジョンということで非常に壮大なイメージもありますが、まず現状をしっかり分析してどういう手立てをしていくのかと。手立てをして行くのはやはり市としての政策というかマネージメントの話になってくるので、そこはこれと連動させる形でしっかり分析結果を踏まえて、作りこみをやっていくと。戦略専門部会でも今並行してやっておりまして、初めて人口ビジョンを明日示しますので、委員の方々から意見をいただいて、肉づけをしていく作業をしていきたいなと。国が総合戦略とセットでこの人口ビジョン策定するようにしていますので、人口ビジョンが一人歩きするわけでもないですし、やはり戦略につなげるという前段の作業がこのビジョンの目的です。ここで出生率をどうするという議論は今はしておりませんが、出生率を本当に上げるのであれば、他の地域よりもかなり大胆な政策を打っていかないと、この数字は打破できないわけであって、そこまで辿りつけるかという議論をどこかでしていかなければならない。他の自治体よりも低い位置から同じ位置を目指すのであれば、より大胆な政策でという話になるのが自然の流れだと思います。

【経済部長】 例えば人口ビジョンを作るに当たって、人口を一人増やすためには、これだけの経済投資をしなければダメだとありまして、当然そういうものが人口ビジョンの中に入ってくるのかなと思っています。それがこの中では見えてこなかったことと、今後の考え方や方向性というものをもっと厚くしていかなければ、ビジョンという形にはならないのかなと。今説明を受けてもその辺はなんとなく不安になります。

【道銀総研 北嶋業務部長】 長沼町も私共の方でやらせていただいています、基本的には人口ビジョンと総合戦略がセットで、人口ビジョンで目指すべく姿を書いてしまうとそれが総合戦略と重なってしまうというようなこともありまして、どこの市町村も人口ビジョンはこれからの人口の状況だとかこれからの推移を整理して、それを踏まえて総合戦略でビジョン的な部分も含めて今後の方向性を整理していくと。そうした形が現時点では一般的かなと思います。今ご指摘いただいた部分については、総合戦略との結び分けも含めて、整理といいますか、調整をさせていただければと思います。

【総務部理事】 データの関係で少し確認したいのですが、意外と札幌ではなくて岩見沢に転出者が多いことにショックを受けています。転入の割合に比べて女性の流出、特に岩見沢への女性の流出がとて多くて、空知管内的には岩見沢に札幌と同じような傾向で集中しているのでしょうか？それとも美唄の女性が岩見沢に集中しているのでしょうか？どういう形で受け取ったら良いのでしょうか。

【道銀総研 北嶋業務部長】 周辺市町村について、本日データは持ってきておりませんが、札幌より岩見沢に極端に集中するというのは、美唄市独自の傾向ではないかと捉えております。若い女性の方々は就職であったりあるいは結婚であったりというような部分で、おそらく札幌又は岩見沢に転居している方の比率が周辺の市町村に比べて大き

いのではないかというような考えを我々としては持っています。

【総務部理事】 女性の場合は、なんとなく札幌に集中するというのは分かるので、岩見沢を超えて札幌に行ってしまうのは分かるのですが、岩見沢に美唄の若い女性が流れていく理由が、医療なのか、他の理由なのか。若い女性が人口の鍵を握ることになっていて、その中のウエイトが岩見沢に行ってしまう理由がわからないかなと。

【市長】 この数字の中身がどのような中身なのかがわかれば、対応として何らかの対策が出来るのではないかと思います。

【道銀総研 北嶋業務部長】 国調とか住民票の関係ではそこまで追いかけることは難しいです。

【総務部理事】 岩見沢に流出する女性の年齢層だけでもわかると、雇用なのか、学生なのか、主婦なのか、なんとなくわかるかもしれませんが。女性の流入がほとんどなくて、女性の転出が 200 人以上ですから、結構大きいなと。岩見沢は、それくらい経済的な結びつきが強いのかなと。こんなに近くなのに、わざわざ流出するということは、何か理由があるのかなと。札幌だったらなんとなくわかるのですが。新聞報道では岩見沢も相当流出していまして、一体何が起きているのか気になります。

【市長】 その数字から読み取れることがあるかと思いますけれども、これらも踏まえて総合戦略の中に反映をさせていけるものだと思います。

【副市長】 経済部長の質問と関連しますが、人口ビジョンを踏まえて総合戦略の中で具体的にということなのだと思いますけれども、具体的な検討項目が分析されていて 3 つありますが、その中に、高齢化などがないようでも、この項目だけで良いのでしょうか。何か足りないような気もしますが、この 3 つの項目が記載された意味合いはどうなっているのでしょうか。

【道銀総研 北嶋業務部長】 現時点では案でしかありません。基本的に人口ビジョンを受けて総合戦略につなげていく。今ご指摘をいただいたように、これ以外も大切なものがあるという部分については反映させなければならないと思います。例えば、他の市町村ですと高齢者にとって住みやすいという意味では CCRC 構想を推進するだとか、雇用の場を開発するという意味では起業についてだとか。それについて市としてどう応援するのか。そういった切り口も必要だと思います。それから女性の方々にとってここでは子育て支援だけ書いてありますけれども、子育てが終わった段階でもう一度働いていただくようにするには何をすればいいのか等々、色々重要な項目というのはここ以外にあるのは事実かと思いますが、ただ実際に人口ビジョンと総合戦略を取りまとめる際に

は、どうしても人口ビジョンのこの分析の部分は、総合戦略を見据えながら調整をしていく部分があるかと思いますので、当然結論ありきではないのですけれども、総合戦略の検討状況を踏まえて逆算というか、戦略に結論を持って来るために人口ビジョンでもこういう問題提起をするというような形で、さかのぼった形で整理というのは必要かなとは思っております。繰り返しになりますが、現時点ではこの人口ビジョンから見た我々の方からこういうことが必要だという形の案としてご覧いただければと思います。

【副市長】 具体的にどういうものを載せるかというのは、今後まだ検討の余地があるということでわかりました。もう一つ出生率の関係なのですが、うちは2.07で頑張りたいということですが、他の市町村を見ると1.6とか1.8とかまちまちなのですが、こういう設定の仕方はどうでしょうか。特にその市町村の考え方だから問題はないと単純に考えていいのでしょうか。

【道銀総研 北嶋業務部長】 他の市町村の検討状況を見ますと、やはり1.8、2.07以外の目標にするのであれば、それ相応の根拠が必要です。なおかつ国や道が示した基準を下回っている状態には、理由が必要になってくると思います。

【副市長】 2.07はかなり高い目標値だと思いますが、それなりの施策なり、そういったものをやっていかなければいけないということになりますね。

【市長】 人口ビジョンにつきましては、それぞれ持ち帰ってさらに確認をいただきまして、質問や意見などありましたら、企画課までお知らせいただければと思います。それでは、次に、議事の(2)事業要望調査の実施について事務局から説明をお願いします。

【企画課主査】 資料2をご覧ください。総合戦略に登載を希望する調査を実施します。お願いする調査の内容の一つ目としましては、市民組織「戦略専門部会」から出た意見に対しまして、各担当課の考え方をお示しいただきたいことと、二つ目としましては、その考え方に基きまして、事業を構築していただくこと、以上の2点となっています。総合戦略に登載される事業については、国の交付金が充当される予定ですが、制度要綱・交付要綱は現段階で策定されていないため、対象事業(経費)につきましては、①ソフト事業を中心とすること、②ハード事業は対象としない。ただし、ソフト事業と合わせて実施し、1事業費に占める割合が1/2以内で、かつKPIの向上が認められる場合は対象とすること、③備品購入費は対象とすること、以上3点にご留意いただきたいと思います。なお、提出いただいた事業については、ヒアリングを実施します。後日改めて、全庁的にお知らせしますので、部長職の皆様から課長職の皆様に、調査の協力についてお伝えいただきますようお願いいたします。

【市長】 ただいま説明のあった件について、質問はありますか？

【経済部長】 戦略専門部会の意見に、市長の公約が入っていない場合は、どうすれば良いのでしょうか。

【企画課主査】 基本的に抜けている部分につきましては、事業を追加で出してもらって構わないと思っております。私共で検討した際には、今策定を進めています総合計画との整合性を見たり、市長公約と比べてみたり、そういった中で出来るだけ関連性など考えているつもりではありますが、担当課でこの意見に関連してこうした事業をやりたいというものがございましたら、出していただいて結構だと考えます。

【経済部長】 この整理した意見の中になくても、担当課の方でこれは戦略に入れたらどうかというものは報告していいということですね。

【総務部理事】 市長の公約は、それぞれ全ての分野を網羅した形で作られていますので、戦略として持っていくということであれば、ここに載っていないものでも提案していただくのは問題ありません。公約としてやることはしっかり決まっているので、戦略の中に盛り込んでも全然問題はないので、一緒にやっていきたいと考えます。それから、担当を割り振らせてもらっているので、個別の案件についてもいろいろ議論があれば、また企画課で相談させていただきたいなど。ただ、企画も全部できませんので、なるべくは頭を取っていただいて、相談しながらやっていくしかないのかなと思っております。戦略を作りこんでいくときには、最終的に財政的なことも含めて、市長のご判断をいただくことになると思います。

【市長】 確かに見ていると、この課題がこの担当課でいいのかなというのも見えてきたりします。

【総務部理事】 戦略専門部会の委員の想いで発言されている部分もあると思います。全部が出来るというわけではなくて、なるべくは拾ってあげたいなど。

【市長】 例えば神社の活用を検討して、商業者、農業者に提案するというのは、提案された方の想いなどはあるかと思えます。そういうようなことで、ここは答えるのに少し厳しいというような所があれば、企画の方に相談していただきたいなど。また、事業の検討に当たりましては、庁内の各関係課で連携をとりながら、関係団体・機関等と十分な協議をお願いします。次に次第3 その他になりますが、皆さんから何かありますか。ないようですので、これをもちまして、会議を終了します。